

第12回 札幌市河川環境推進会議

日時：令和2年12月～1月

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から個別または書面説明とした。

概要は以下のとおり。

●事務局からの説明

議事1 昨年度のご意見に対する対応について

昨年度の河川環境推進会議で頂いたご意見に基づいて行った対応報告

議事2 今年度実施した事業について

① 普及啓発事業

川の学習パネル展、川めぐりウォーキングツアー等、今年度実施した情報発信・普及啓発事業の実績報告

② 環境整備事業

- ・旧中の川環境整備（公園内における親水空間の整備）
- ・山部川魚道整備事業
- ・盤溪川多自然川づくりワークショップ

③ 河川環境整備計画検討業務

議事3 過年度整備河川の課題と対応について

- ① トンネ・ポントネ川 散策路の自転車通行
- ② うらうちない川 親水広場の水枯れ

議事4 今後の活動等について

- ① 熊の沢川サクラ並木造成事業 サクラ維持管理講習会
- ② 山部川魚道整備事業 効果検証のための生物観察会の開催
- ③ ポンノッポロ川落差解消 効果検証
- ④ コロナ禍における普及啓発事業

●委員からの主なご意見

議事2 今年度実施した事業について

- ・川の学習パネル展：展示だけでなく、小学生による発表があると良い機会・経験になるのではないかと。
- ・盤溪川多自然川づくり：整備案について、小学生が現地で得た実感と繋がっていないと、他人が考えた案でしかなく、主体性がもてない。児童の意見と整備案の関係を説明することが大事である。
- ・河川環境整備計画検討業務：「多自然川づくりの評価視点」および「優先度評価」において、“地域住民からの意見・要望”も要素として加味してはどうか。
：優先度を考える際にいつも悩むことだが、点数化すると個別の優先度は分かり易いが、全体にどのように影響するのかも重要な視点である。そこが説明できないと、何が変わるの？札幌市の川どのような良いことがあるのかという疑問になってしまう。

議事3 過年度整備河川の課題と対応について

- ・トンネ・ポントネ川：管理者が全てルールを決めることが良いことではないと考えるので、利用の主体である地域とともにルール（ローカルルール）を考えていくことは良い。

議事4 今後の活動等について

- ・山部川魚道整備事業：整備後の状況だけを見せると課題がどのように解決したのかわかりづらい。事業の目的を記載した工事看板を設置し、工事の内容を意識して見てもらうようにしてはどうか？

その他 その他のご意見

- ・技術の進展により、自宅で川のVR等を視聴することができれば、川への興味に繋がるのではないかと。観光施設に行くと、タブレット端末があり、施設解説の視聴・AR体験ができるところが多いが、このように親子で楽しめるものがあると良い。
- ・河川の上流区間に隣接する学校は上流の様子しかわからないし、下流区間に隣接する学校は下流の様子しかわからないので、今後の活動として、両者で上下流の情報を交換できるような活動をしてもらいたい。